

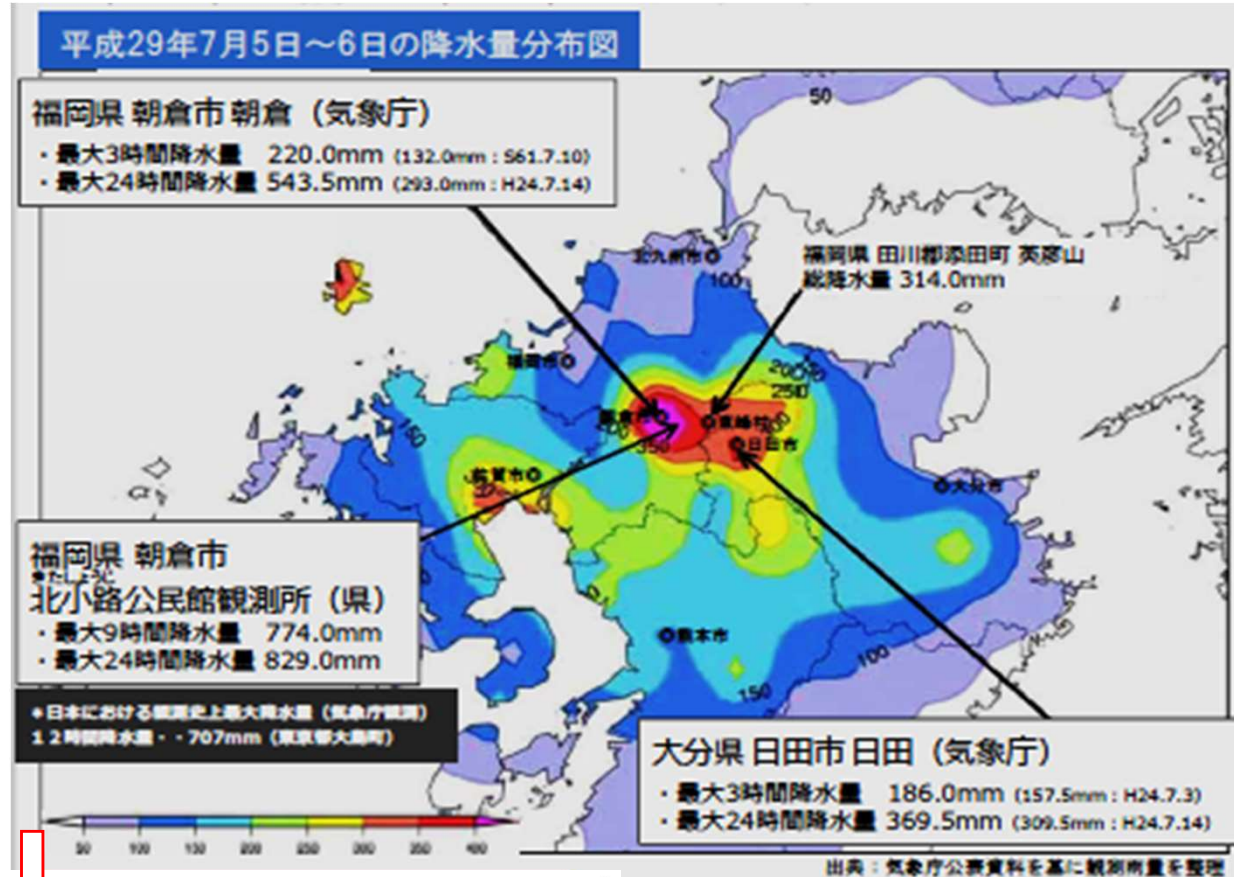


## 赤谷川災害復旧事業 説明資料

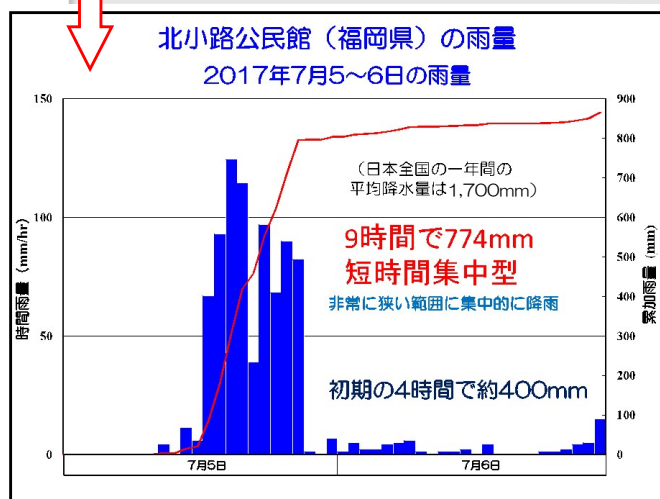


国土交通省 九州地方整備局  
筑後川河川事務所 九州北部豪雨復興出張所

# 平成29年7月九州北部豪雨の被害の概要



被災当時に発生した積乱雲  
(福岡市東区名島 多々良川河口付近から朝倉市方面を臨む)





# 大量の流木が まちを襲う

大量の流木が流れ込んだ福岡県朝倉市山田地区

## 山腹崩壊が多数発生し、大量の土砂や流木が市街地へ

記録的な豪雨の影響で筑後川中流右岸側の支川上流域では多数の山腹崩壊が発生し、土砂と一緒に大量の流木が市街地へ流れ込んだ。今回の豪雨災害ではこの流木が被害の拡大を招いた。福岡県朝倉市の三連水車も被災するなど、各地で甚大な被害が発生した。



山腹崩壊が多数発生した福岡県朝倉市



被災した田史跡 三連水車(福岡県朝倉市)



# 土砂・流木との闘い

赤谷川の応急復旧工事に着手(H29.7)

## 川の本原形が分からなくなる程の大量の土砂や流木を撤去

大きな被害を受けた赤谷川流域では、元の川の形が分からなくなるほど大量の土砂や流木が流れ込み、川を埋塞させた。安全に洪水を流下させるため、河川周辺の土砂や流木を撤去し、平成30年5月には、被災前の水量が流せる程度まで復旧を完了させた。



大量の土砂や流木が流れ込んだ赤谷川(H29.7)



被災前の水量が流せる程度に復旧した赤谷川(H30.5)

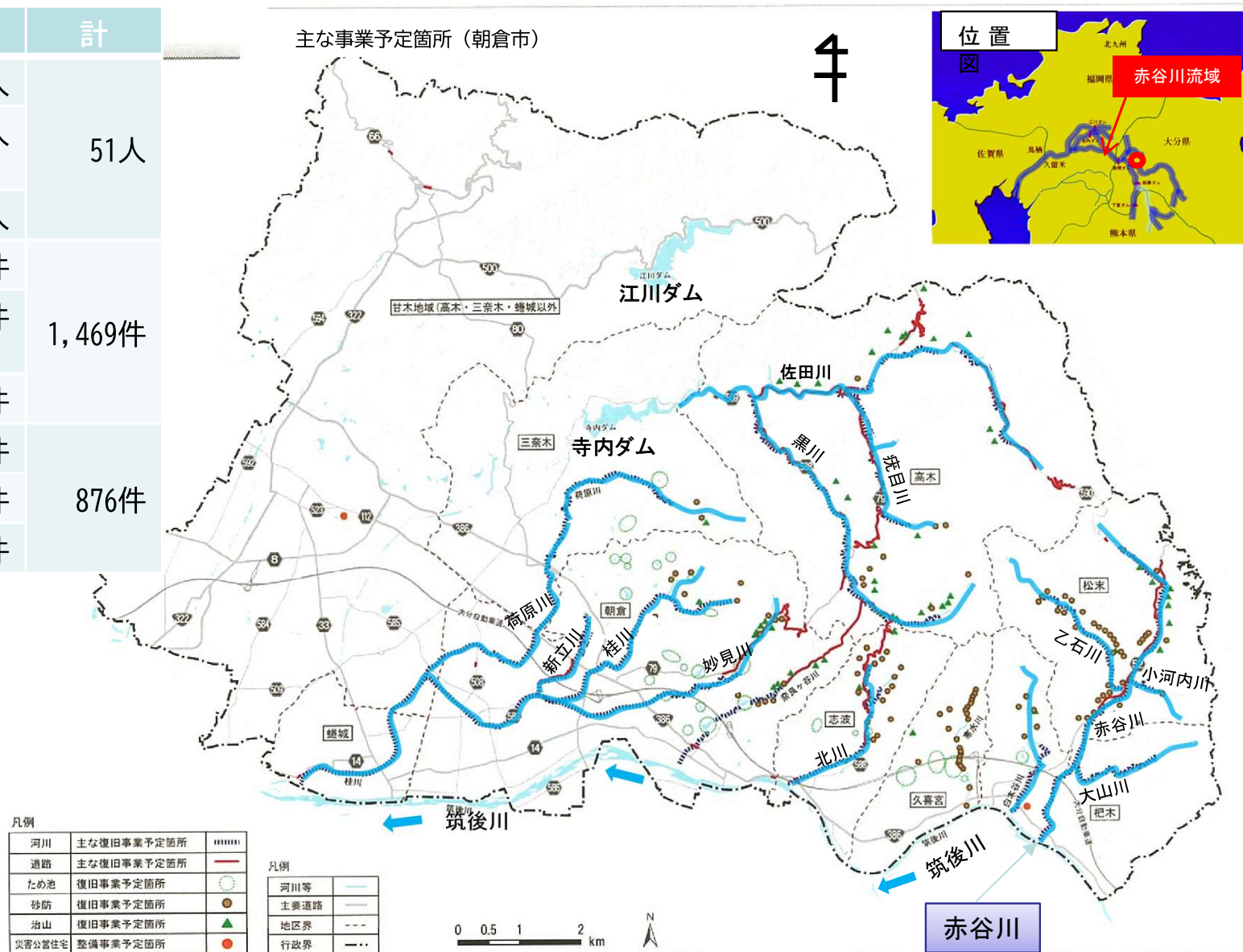
# 平成29年7月九州北部豪雨の被害の概要（位置図）

## 被害の状況（朝倉市）

区分		数	計
人的被害	死者	33人	51人
	行方不明者	2人	
	負傷者	16人	
住宅被害	全壊	260件	1,469件
	大規模半壊	119件	
	半壊	663件	
その他	道路	483件	876件
	橋梁	83件	
	河川	310件	

約2,500箇所	約1,100箇所
土砂量	
全体	赤谷川流域
約1,065万m <sup>3</sup>	約290万m <sup>3</sup>
流木量	
全体	赤谷川流域
約22万本	約5万本

樹木1本当たり0.6m<sup>3</sup>として計算



河川権限代行工事

砂防直轄砂防事業

九州北部豪雨

(平成29年7月5日)

平成29年7月14日(金)

福岡県知事より応急復旧要請

平成29年7月19日(水)

応急復旧工事着手  
応急復旧工事の権限代行を決定



平成29年11月30日(木)

福岡県知事より本復旧要請

平成29年12月1日(金)

九州北部緊急治水対策プロジェクト

事業着手  
本格的な復旧工事の権限代行を決定

令和5年3月31日(金)

権限代行工事完了

H29.9.12

H29.11.22

筑後川右岸流域  
河川・砂防復旧技術検討委員会

平成29年8月10日(木)

福岡県知事より要望

平成29年8月15日(火)

応急対策工事着手 直轄砂防災害関連緊急事業



令和5年7月7日(金)

特定緊急砂防事業終了

特定緊急砂防事業に着手

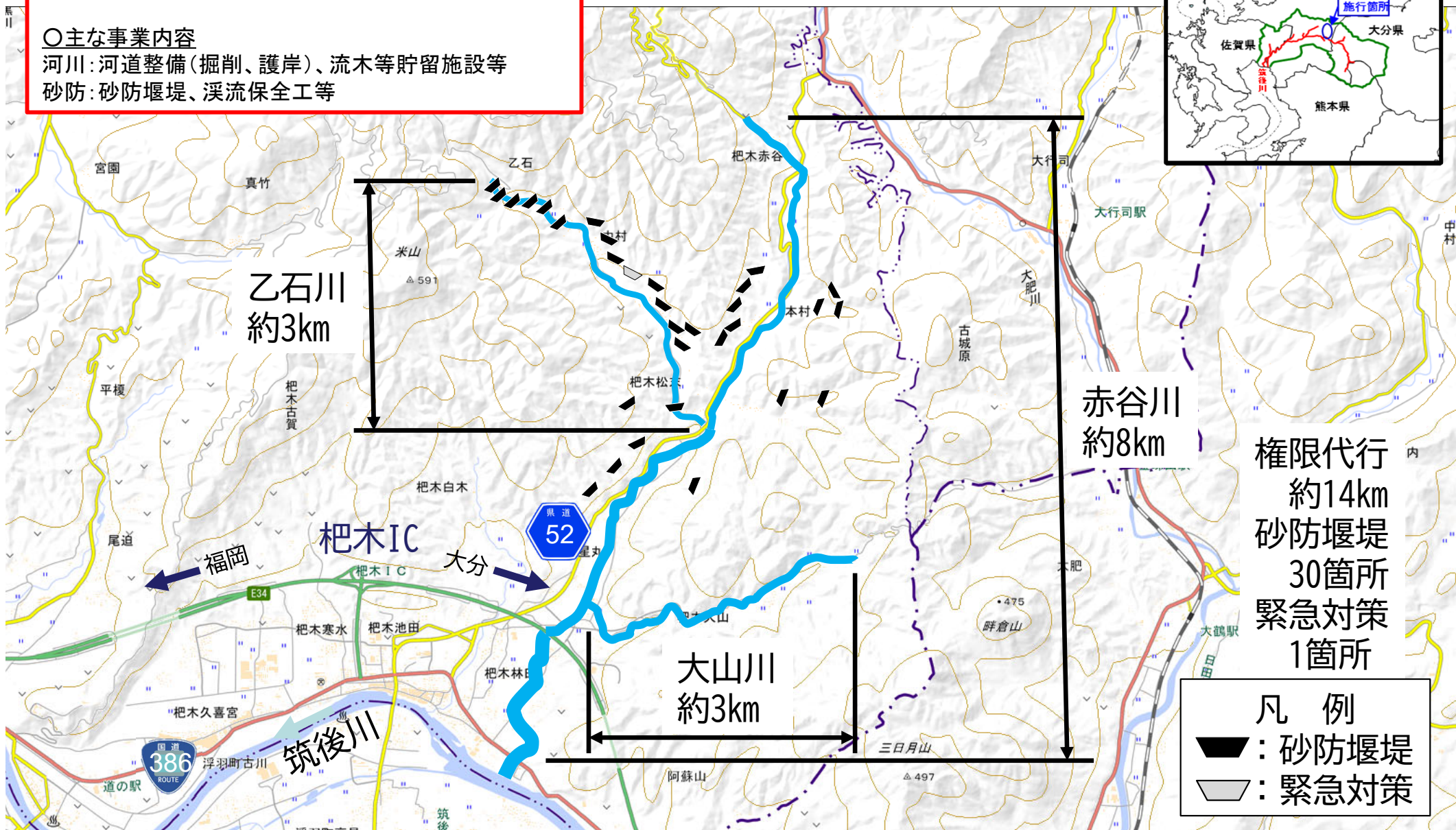
# 赤谷川権限代行・特定緊急砂防事業の事業内容

【筑後川水系赤谷川、大山川、乙石川】

○主な事業内容

河川：河道整備（掘削、護岸）、流木等貯留施設等

砂防：砂防堰堤、溪流保全工等



あかたにがわ ひがしはやしだ  
【赤谷川下流】東林田地区



# 復旧状況（河川）

災害直後 平成29年 7月13日 撮影



1年後 平成30年 6月13日 撮影



5年後 令和 5年 3月27日 撮影

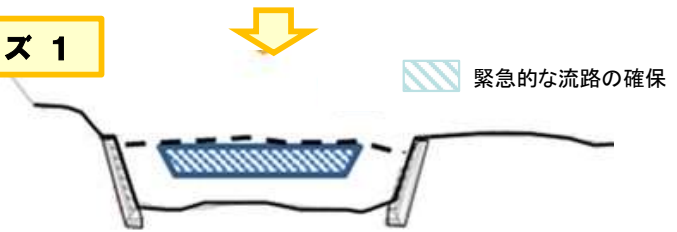


## 赤谷川 整備イメージ

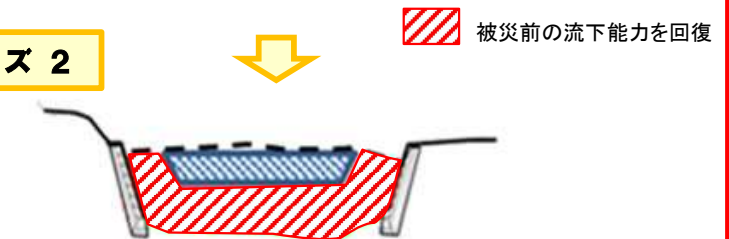
被災直後



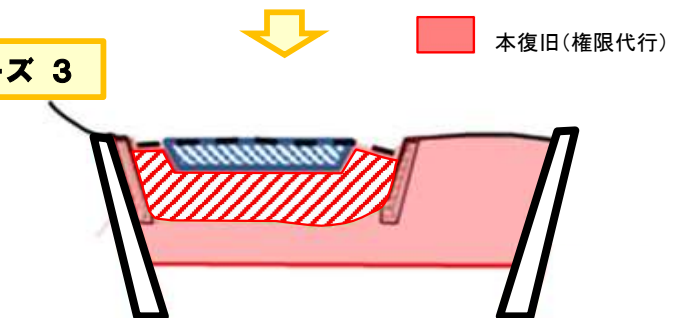
フェーズ 1



フェーズ 2



フェーズ 3





# 赤谷川下流部(東林田地区)施工後状況

令和5年5月22日撮影

赤谷川下流 川口橋を望む



川口橋

## 【落差】

- ・自然石を横断方向に並べて、自然の落差を施工した。
- ・自然石は水面から頭が出ないように沈め、上部を水が越流。

## 【淵】

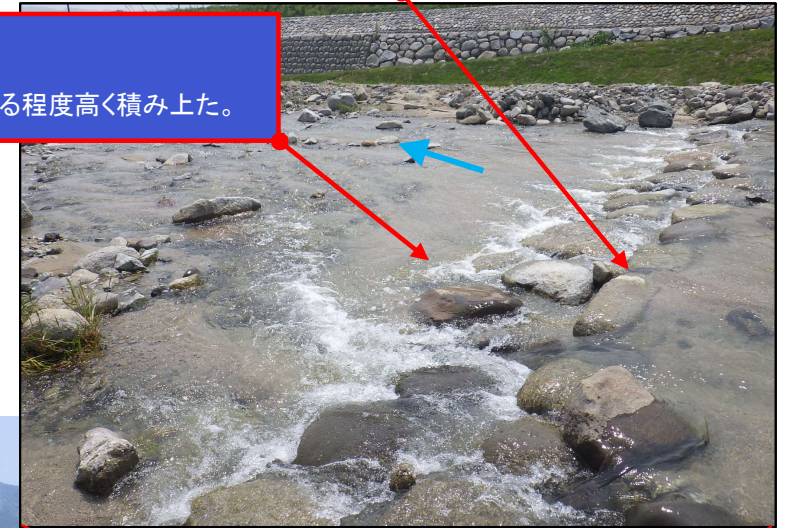
- ・自然の落差の下流側に淵を施工した。
- ・淵が土砂で埋まらないように、上流側の落差はある程度高く積み上た。

## 【水辺の小道】

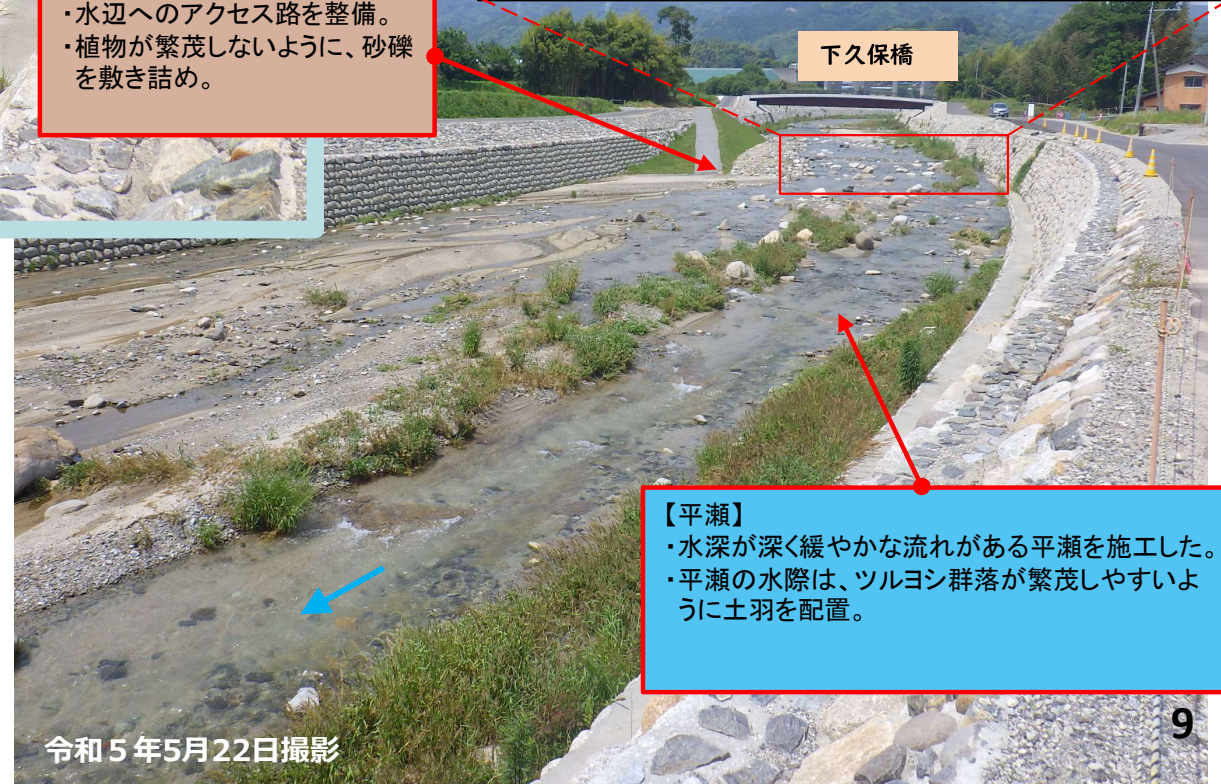
- ・水辺へのアクセス路を整備。
- ・植物が繁茂しないように、砂礫を敷き詰め。

## 【平瀬】

- ・水深が深く緩やかな流れがある平瀬を施工した。
- ・平瀬の水際は、ツルヨシ群落が繁茂しやすいように土羽を配置。



下久保橋



## 【平瀬】

- ・水深が深く緩やかな流れがある平瀬を施工した。
- ・平瀬の水際は、ツルヨシ群落が繁茂しやすいように土羽を配置。

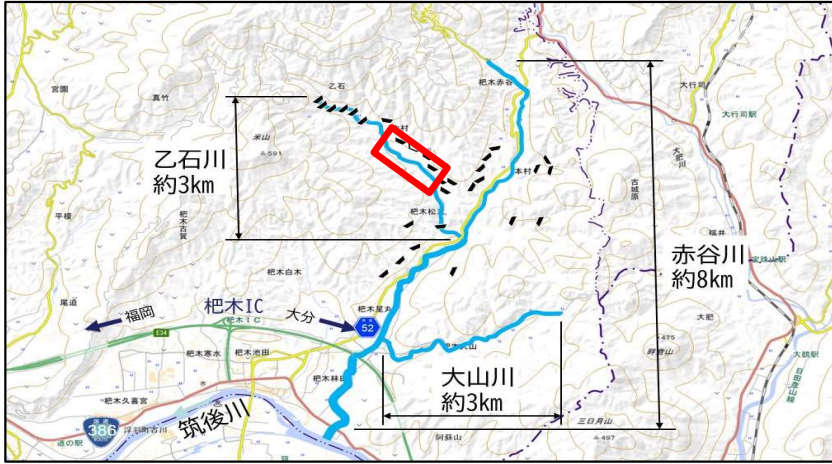
令和5年5月22日撮影

おといしがわ あかたにがわ おといしがわ  
**【乙石川】赤谷川・乙石川合流点**



# 乙石川 新北向橋上下流施工状況

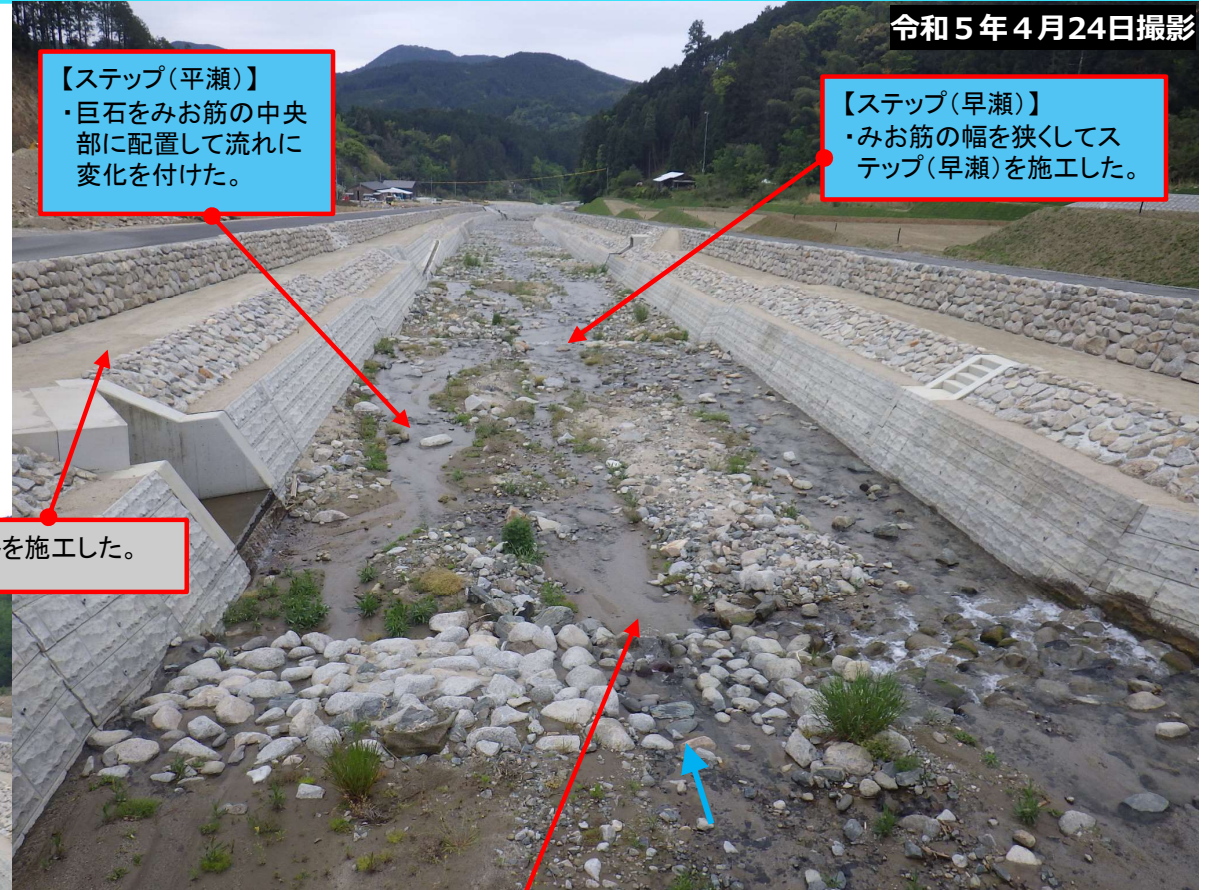
令和5年4月24日撮影



令和5年4月24日撮影



【ステップ(早瀬)】  
・みお筋の幅を狭くしてステップ(早瀬)を施工した。



【ステップ(平瀬)】  
・巨石をみお筋の中央部に配置して流れに変化を付けた。

【ステップ(早瀬)】  
・みお筋の幅を狭くしてステップ(早瀬)を施工した。

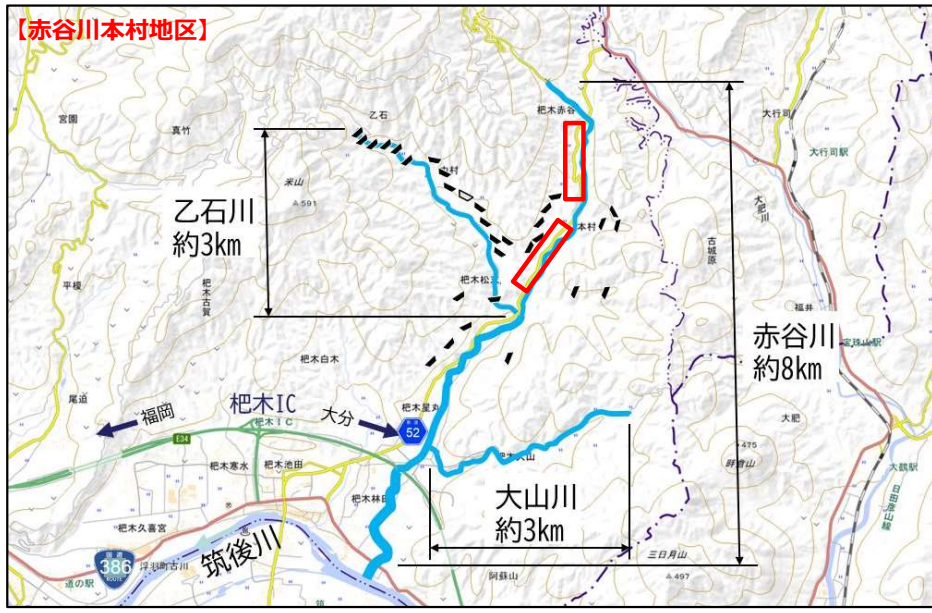
両岸に散策路を施工した。

【プール(淵)】  
・落ち込みの直下に淵を施工した。





あかたにがわ くえんたに がわ  
**【赤谷川】崩谷川砂防堰堤**



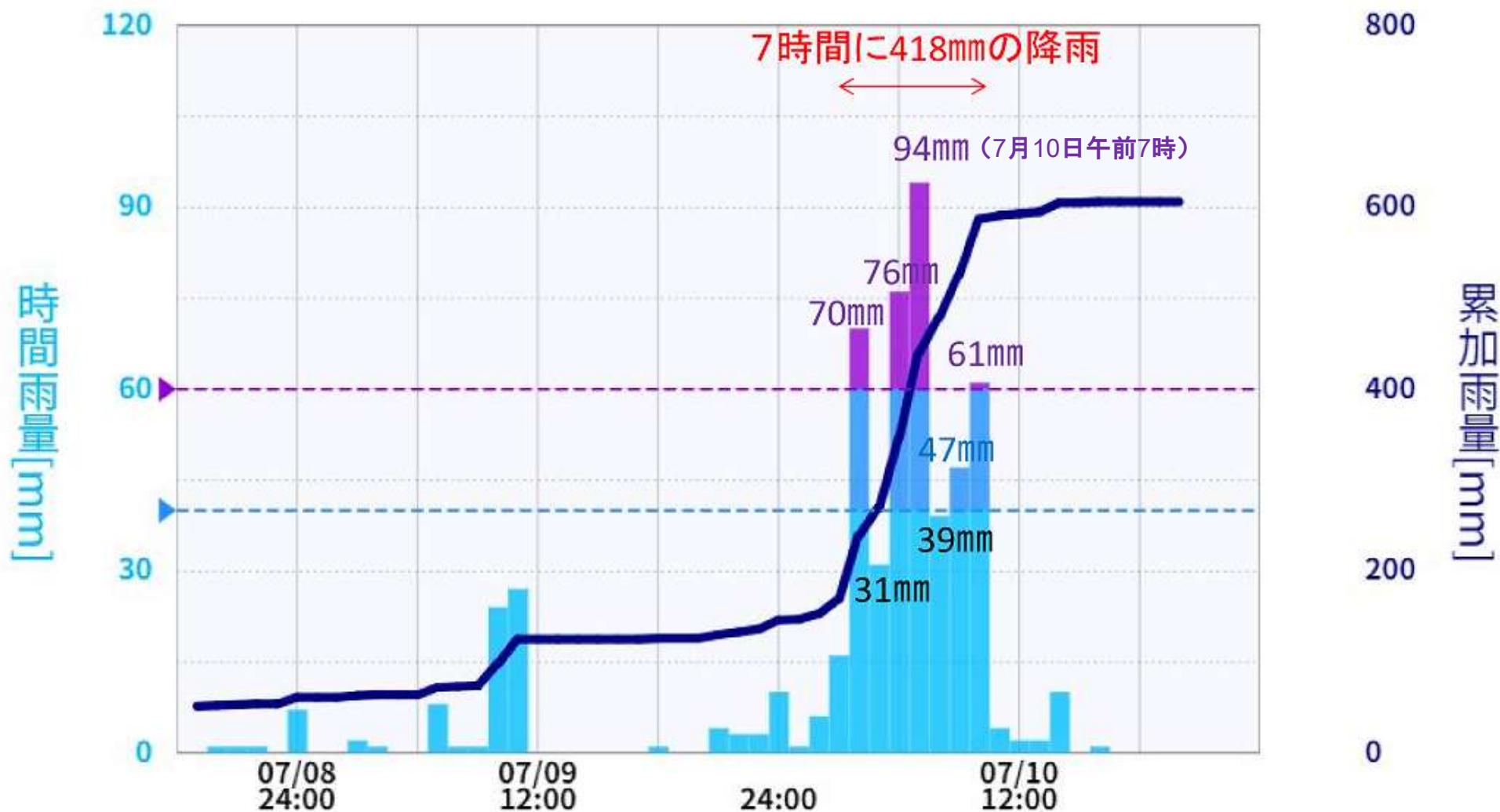


ますえしょうがっこう ちくごがわすいけい あかだにがわ  
松末小学校 筑後川水系 赤谷川

■最新観測値 2023/07/10 20:00

時間雨量: 0.0mm 10分雨量: 0.0mm 降り始めからの雨量: 606.0mm

## 雨量グラフ



# 令和5年7月10日出水状況(乙石川上流)

乙石川上流 乙石15 1号堰堤を望む

令和5年7月10日  
6時41分撮影



乙石15  
1号堰堤

乙石川

乙石川上流

令和5年7月10日  
6時41分撮影

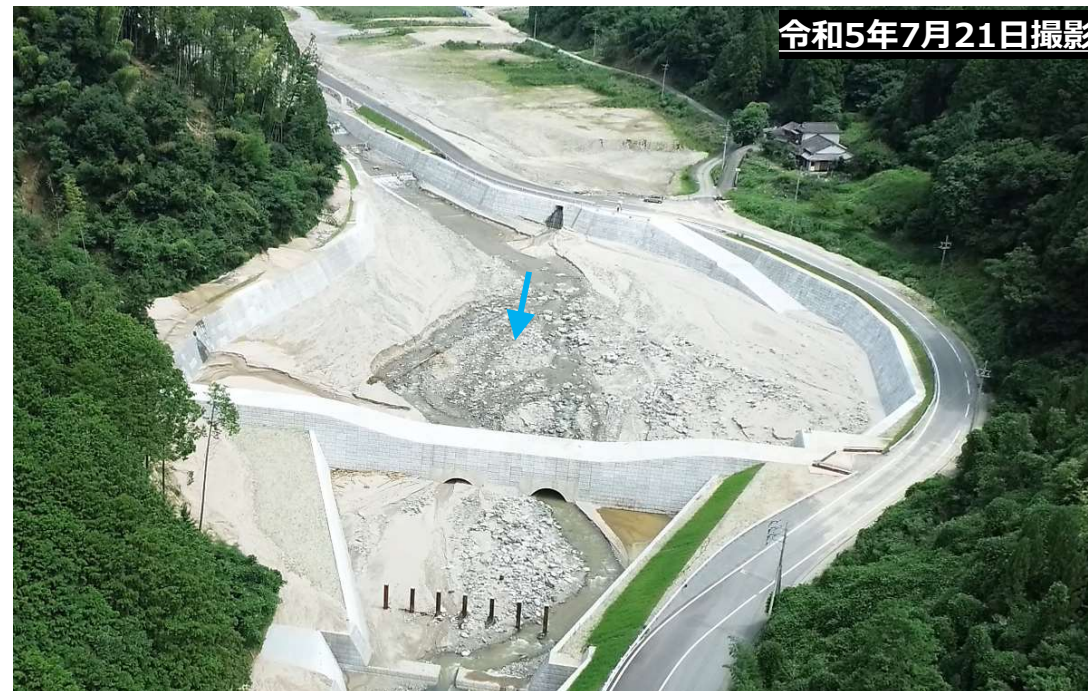


乙石川



# 令和5年7月10日出水後の状況(赤谷川)





令和5年7月21日撮影



令和5年7月21日撮影

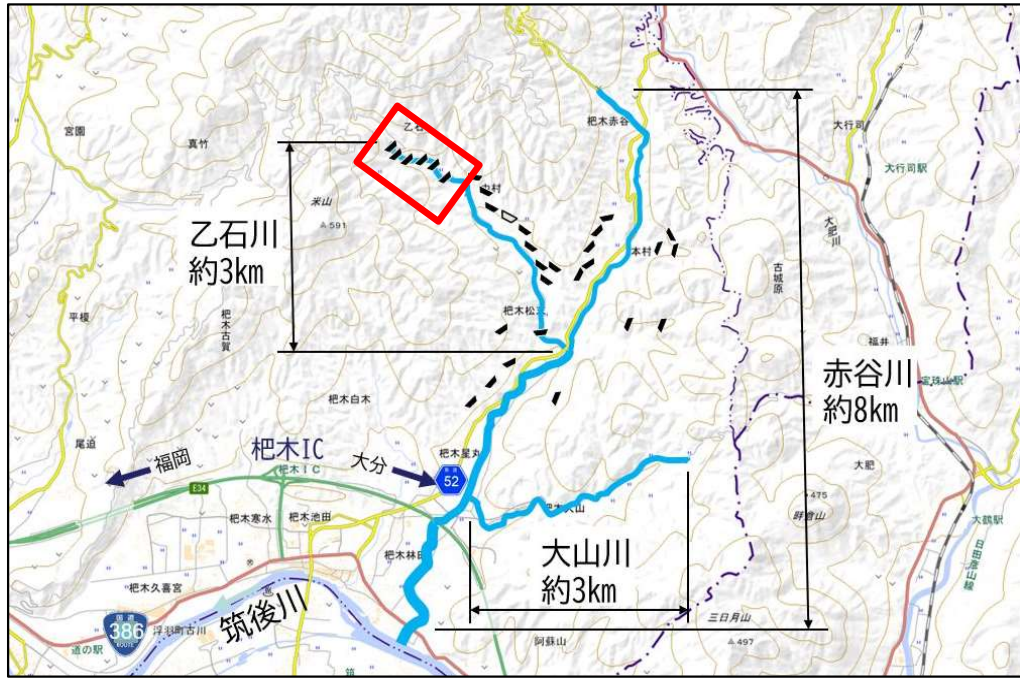


令和5年7月13日撮影

土砂捕捉量約22,000m<sup>3</sup>

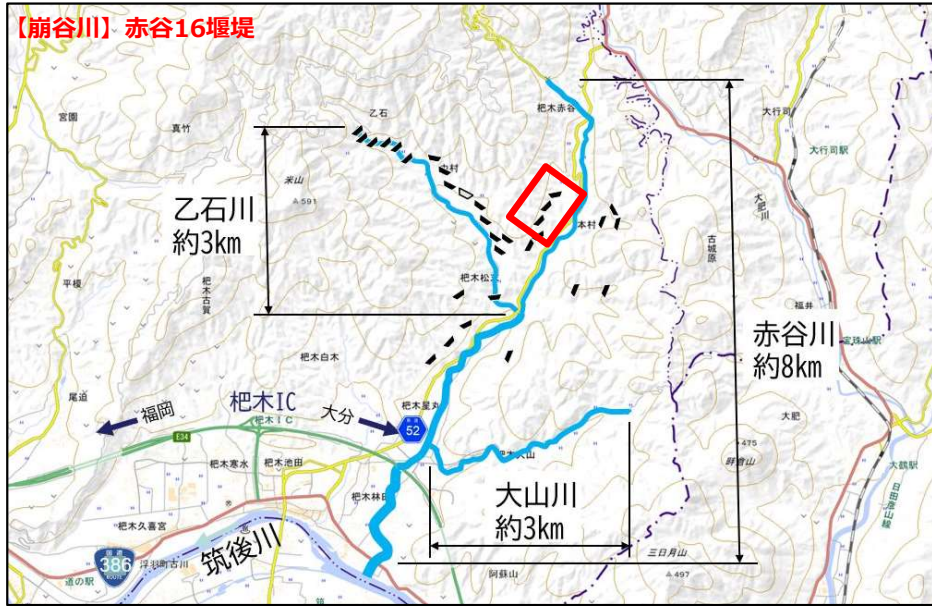
# 令和5年7月10日出水後【流木捕捉状況：乙石川上流堰堤群】

おといしがわ じょうりゅうえんていぐん



# 令和5年7月10日出水後【堆砂状況:崩谷川 赤谷16堰堤】

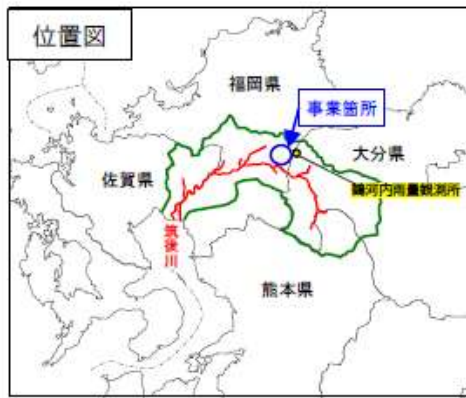
くえんたにがわ



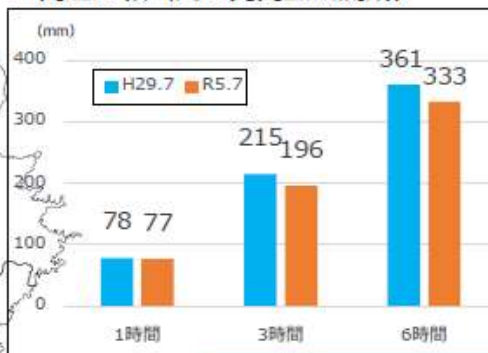
# 河川改修・砂防事業による効果（筑後川水系赤谷川）

速報値

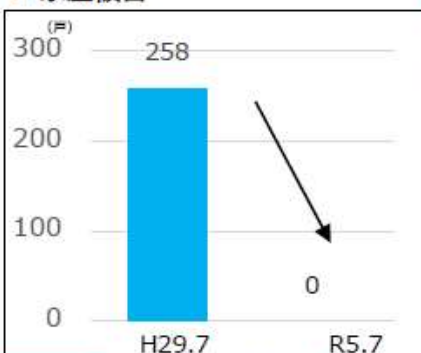
○赤谷川流域に甚大な被害を及ぼした平成29年7月九州北部豪雨と同規模の雨量を観測し、流域全体で大量の土砂・流木が発生したが、直轄事業にて整備した砂防堰堤のうち計19箇所では約10万m<sup>3</sup>の土石流を捕捉して土石流被害を防止するとともに、赤谷川本川への土砂流出を軽減し、そして権限代行により整備した河道にて安全に流下させることで、家屋浸水被害を防いだ。



■雨量比較（鶴河内雨量観測所）



■家屋被害



③砂防堰堤群と斜面対策（乙石川上流）



①乙石川中流



④砂防堰堤群（杷木星丸地区）



②赤谷川下流（鶴園橋上流）

